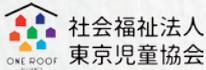




令和4年度東京都女性活躍推進大賞 一特別賞一



社会福祉法人東京児童協会



一人ひとりが専門性を活かしながら活躍できる職場づくりを推進



【設立】昭和35年2月
 【代表者】理事長 菊地 政幸
 【正規職員数】548人(女性488人、男性60人)
 【所在地】江戸川区
 【事業概要】都内 22 か所で認定保育園・認定こども園を運営

背景・経緯

- 保育園の性質上、園長や副園長は保育士からの登用という固定概念があった中、職種を限定しないキャリアアップ制度を整備
- 職員が健康で安心して長く働き続けることができる環境を整えるため、年1回の満足度調査等を実施し、問題点の抽出と改善に取り組む

取組内容

【職種を問わず職員の活躍を支援】

- ・看護師・栄養士にもキャリアアップ試験の門戸を開き、優秀な人材を園長・副園長として登用するなど、職種を限定しないキャリアアップ制度を整備
- ・栄養士の専門性を活かした食育、看護師プロジェクトチームによる「いのちをまもる」をテーマにした健康教育「いのちキラキラプロジェクト」など、職員の専門性を活かしたプロジェクトを展開

【男性の育児休業取得促進】

- ・事務局次長が「私も育休取ります！1ヵ月以上」のメッセージを掲げ、男性の育児休業取得を促進



調理の様子が子供たちに見えるキッチン



各園の看護師による健康教育の実施



育休中の男性職員

効果

- 保育士が78%、看護師4%、栄養士18%の環境において、平成29年に看護師1名を園長、令和2年に栄養士1名を副園長、令和3年に看護師2名を園長へ抜擢
- 職員の仕事に対する活力・熱意・没頭の値を示す『ワークエンゲイジメント』の向上
2014年: 3.67ポイント → 2022年: 3.85ポイント(最大5.0)
- 男性の育児休業取得率100%